

選考試験 専門実技問題（歴史学芸員（古代・中世史）資料読解）

〔問題〕 別紙の（1）から（3）の史料について、文書の様式に着目して史料名を付け、訓読しなさい。

〔留意事項〕

- 一. 訓読文の冒頭に、（1）から（3）の史料の番号と史料名を付すこと。
- 二. 訓読とは、漢字・仮名を交えた読み下し文にすることをいう。なお、読点は付すこと。  
（例） 右条々堅令停止畢 ↓ 右の条々、堅く停止せしめ畢んぬ、
- 三. 判読できない文字がある場合は、史料の文字数に合わせ、○で表現すること。  
（例） 右の○○、固く停止せしめ畢んぬ、
- 四. 花押は、（花押）と表記すること。
- 五. 正字体（旧字体）は新字体に直して表記してよい。
- 六. 別紙の（1）の史料末尾（日付以降）に記載された人名については、文書の草案作成の責任者と、最高官位の人名を順に記し、そのほかの人名は省略すること。

（1）

著作権の関係により、掲載できません。

著作権の関係により、掲載できません。

著作権の関係により、掲載できません。

（2）

著作権の関係により、掲載できません。

（3）

著作権の関係により、掲載できません。